

ひろ

3

2019年 No.363
平成31年3月



酪農女性サミット開催される	2
新規就農者激励会	
ホクレンニューイヤーモーターショーin とかち...	3
第49回広尾毛がにまつり開催される	
外国人技能実習生春節交流会	4
第3回地区別学習会	
十勝で活用出来る技術方策等の視察研修...	5
農作業受委託組織視察研修	6
融雪時期の家畜ふん尿の処理及び管理について	
育成プロジェクト結果から②	7
広尾線地区JA青年部スポーツ交流会	8
年金友の会温泉湯治旅行	

JA女性部第66回通常総会	9
すみれ会第33回定期総会	
第29回JA北海道大会	
～パネルディスカッション～	10～11
普及センター技術情報	12
JAグループ通信	13
建築物等を建設する場合について(農地転用等)...	14
広尾警察署からのお知らせ	15
理事会	16
運勢・頭の体操	17

ホクレン ニューイヤーモーターショーinとかち

高級大型車でも低燃費を実現



1月26日から27日の二日間、第18回ホクレンニューイヤーモーターショーinとかちが音更町の十勝農協連アグリアリーナで開催されました。国産主要メーカーの最新車種や優良中古車が同一会場で展示されること、両日も天候にも恵まれ暖かかったことから小さな子供を連れた家族も多く来場していました。

車台部を共用してコストを抑え、違うメーカーで販売する形態の軽自動車と小型乗用車やハイブリット技術により低燃費を実現しています。



会場には500万円を超える中古の国産車も展示されており、豪華装備等に対する割安感から問い合わせも多く、商談が行われていました。新車の販売状況は毎年、前年に対し微増とのことです。優良中古車は売れ行きが大幅に増えており、市場流通も少ないことから、お子さんの就職・進学等で中古車をお探しの方はある程度時間に余裕を持ってお申し込み頂きますようお願い致します。



また、系統独自銘柄の低価格で充実装備の軽トラックも販売しておりますので、興味のある方は車輛整備工場までお問い合わせ下さい。



酪農女性サミット開催される

12月5日から6日にかけて、道内の女性酪農家らが参加して酪農女性サミットが中標津町で開催されました。実行委員会の委員長を砂子田円佳さんが務め、全国各地から女性酪農家や酪農に関わる女性など約270名の参加があり講演やトークセッションが行われました。



基調講演では、J Aグループ北海道提供のHBCテレビ番組「あぐり王国北海道NEXT」に出演しているアナウンサー 森結有花アナウンサーが「働くあなただの背中を見て」をテーマに番組内での農業体験を紹介されました。



音頭などが行われ会場を盛り上げていました。2日目は、酪農コンサルタント業務を行っているハイドサポート株式会社の久富聡子氏の講演があり、その後ワークショップが行われました。ワークショップでは先輩たちや若手の成功談や失敗談などの情報交換が行われ、明日からの目標や自身の生活スタイルの再確認などが行われました。

新規就農者激励会

二名の若者が新たに広尾農業を牽引

2月12日、新規就農者激励の集いが八幸で行われました。本年度は、鯖江義克君（鯖江雅浩様五男）・尾崎龍輝君（尾崎慎吾様長男）・山口悠斗君（山口潤一様長男）の3名が新たに広尾農業の若き担い手として就農することとなり、村瀬町長・今村広尾町農業委員会会長・萬亀山組合長より、それぞれ酪農を生涯として選択されたことへの感謝や今後の期待に対する激励と、同じ時期に就農した仲間として共に頑張ることを願う言葉がありました。



就農された3名の方々から、不安もあるが頑張っていくとの力強い決意の言葉がありその後の会食では新たに仲間となった若者3名の食欲に広尾町農協の明るい未来もかいま見えた気がしました。これから、様々な行事等でも顔を出す機会があると思いますので、今回の3名をはじめ、新たに新規就農者となった担い手を暖かく見守っていただきたいと思います。

第49回 広尾毛がにまつり開催される

12月9日、シーサイドパーク広尾特設会場にて、広尾毛がにまつりが開催されました。今年で49回目となるイベントで、名物の直径2メートルの大釜で茹でた毛がにやカニ汁など、海産物を中心に販売されました。ステージ会場では、毛がにの

早食い競争や子供向けの駄菓子まき、豪華景品が当たる抽選会が行われ、多くの来場者が参加され賑わいました。当JAでは酪農部会のご協力により牛乳消費拡大運動として来場者へホットミルクの無料配布を行いました。雪印メグミルク大樹工場からは牛乳・乳製品のPRも兼ねてクリームシチューが無料で提供されました。また、サンタまるしえからは野菜類の直売も行われました。

時より強く冷たい風が吹く中でイベントが行われたこともあり、用意した牛乳やシチューは全て配られ、牛乳の美味しさを大いにアピールすることができました。

外国人技能実習生

春節交流会

2月5日、JA広尾外国人研修生
受入農家連絡会（川崎和雄会長）主
催による春節交流会が、町内の東香

園で行われました。

旧暦の正月にあたる春節は、中国
では最も重要な祝日であり、新暦の

正月よりも盛大に祝わ
れていることから、毎
年この時期に合わせて、
普段懸命に働く実習生
が日々の業務を忘れ同
郷の友人たちと楽しめ
るよう企画されていま
す。

中国では豚肉を多く
食べる習慣があり、香
ばしい煙に包まれなが
らおいしそうに頬張っ
ていました。

実習生にとっては昨
年の夏季交流会以来、
久しぶりに全員が顔を
合わせる機会であり、
友人たちと時間いっば
いまで楽しい会話と食
事を楽しみました。



平成
30年度

第3回

地区別学習会

12月13日、広尾町農村環境改善セ
ンターで第3回地区別学習会が開催
されました。

今回は前回の継続テーマであ
る「育成体測プロジェクト結果より
育成後期の発育・傾向と対策」につ
いて柳清流酪農サービス代表取締役

海田佳宏氏が講師となり、町内の生
産者や実習生15名が参加しました。

乳牛の妊娠のための栄養素要求量
で一番多くを占めるのが生体維持、
次に胎児関係の成長（妊娠成立後）、
個体の成長、泌乳、体脂肪蓄積、繁
殖（不妊時）の順になります。摂取
した飼料の栄養が足りていな
いとまず初めに繁殖に影響し
てくることになります。また、
母体の栄養分は優先的に胎児
に供給されるため、妊娠期間
の母体への低栄養は出生後の
子牛の状態に大きく影響する
とのことでした。

その他、分娩後のトラブル
（難産や後産停滞、低カル、
乳熱、低マグ、ケトシス、
第四胃変位）などについても
説明がなされました。

なお、今回の学習会の資料
は農業支援課にありますので、
内容に興味のある方は農業支
援課までお問い合わせ下さい。



十勝で活用出来る技術方策等の視察研修

1月16日から18日にかけて、十勝地区
農協酪農専門委員会の道外視察研修が行
われました。

酪農専門委員会は、十勝管内24JAの
酪畜関係の実務部長で構成され、酪畜
に対する支援や要望等協議を行う組織と
なっており、農林水産省との意見交換や
都府県の酪農状況、流通改革に応用可能
な最新技術の視察研修を北関東5力所
で行いました。

初日は東京到着後、関東生乳販売協同
組合連合会を訪問しました。同組合連合
会は関東地区に於ける生乳全般の支援対
策を行う組織で、ここでの価格決定が道
内の生乳価格決定にも影響を与えていま
す。関東地区は乳牛の飼養頭数が30頭以
下の酪農家が全体の50%以上を占めてお
り、その乳量は地区全体の20%以下で、
高齢化が進み規模拡大も難しく、今後益々
北海道からの移出乳に頼らざるを得ない
状況とのことです。一部道内の安価な産
地パック牛乳の流通により、関東地区の
生乳価格の値上げ交渉に影響を及ぼして
いる状況との説明がありました。

その後、農林水産省を訪問しクラスタ
ー事業・乗酪事業・環境負荷軽減事業に
ついて3名の担当の方々と意見交換を
行いました。各担当官とも補正予算の執
行にあたっては、北海道は冬期間工事が
出来ない状況は十分理解しているが法律
上、防衛費等も含めて全ての補正予算執
行は1年以内と定められており、前年に
比べ大きく事業内容が変わることはあま

り無いので、事業開始がなされたら直ぐ
に実行出来るよう事前に準備を進めてお
いて頂きたいとのアドバイスがありまし
た。

二日目に訪問した株式会社アビーは、
鮮度・細胞レベルから始まった冷凍技術
の視察研修で、IPS細胞保管にも応用
されているとのことでした。フランス料
理に於いても味に敏感なフランス人シェ
フからアビーのCAS（キャス）冷凍技
術は解凍した段階で生に戻るとのお墨付
きがあるほどで、国内外に於いても魚介
類にこの技術が使われた流通がなされて
います。冷凍期間は2力年としておりま
すが、実際には5年を経過した物でも遜



農林水産省にて

色なく流通出来るようです。乳製品に於
いて、どこまでこの技術を応用出来るか
は未知ですが、冷凍での流通保管により
年間を通じた安定供給と価格維持の実現
に向けて期待がもたれています。

その後、雪印メグミルク海老名工場を
訪問しました。同工場は2014年に完
成し、雪印メグミルク工場の中では建設
中の工場を除き、最新鋭の工場となっ
ています。自社ブランドのほか、委託加工
も行われており約120アイテムで25万
キロリットル（道内は根釧地区から生乳を受け
入れ）の製造を行っています。受け入れ
た生乳は施設二階のストレージタンクに
貯蔵され、そこから高低差を利用して各
製造工場へ搬送され殆どがオートメーシ
ョンで製造が行われています。年間15回
の現場・社内・社外の監査が実施され、
品質管理は①通常の五味②風味異常③臭
い異常の三項目について、検査を行うた
めの自社試験をクリアした職員により管
理され、安心・安全な乳製品が提供され
ています。

三日目は瑞穂農場を視察いたしました。
瑞穂農場の発足は食肉卸からとなっており、
からは搾乳も行う国内屈指の大型牧場と
なりました。国内には9力所の分場（道
内は別海）と9力所の関連会社（道内は
北斗市）を有し、製造から販売までを一
貫して行っています。農地の確保は地域
柄ゴルフ場跡地を買い取り自家産堆肥
の処理を兼ねながらコーンの作付けによ



雪印メグミルクにて

る耕起整地で畑の均平化を行い、その後、
草地として利用していくとのこと、ク
ラブハウスは男性職員の寄宿舎や研修所
として利用しています。労務員確保には
苦労しており、外国人技能実習生（50名）
は、個々の力量に応じ搾乳・哺育・育成・
肥育等のそれぞれの得意分野に振り分け
て雇用しているとのことでした。敷き料確
保も難しいため、糞尿は通常の攪拌発酵
による熱処理（この段階で一部はビーニ
ール袋に入れて量販店に肥料として販売
や、畑に肥料として散布）を行った後、
屋根だけのビニールハウスに移動し、ト
ラクターのロータリーで攪拌し更に熱処
理を行い敷き料として再利用しています。
畜舎の屋根は暑熱対策を兼ね太陽光によ
る発電パネルを設置し売電と一部はフリ
ーストールの換気扇電源として自家消費
に向けられ都府県ならではの対策をして
いました。

農作業受委託組織



11月9日から11日、十勝地区農作業受委託事業協議会主催の道外先進地視察研修に参加しました。

今回の視察研修では、愛知県で主に水田管理に関する作業を幅広く受託している(有)鍋八農産を訪れ、IT管理ツールを利用した作業行程管理による作業の効率化について管理ツール導入に至る経過や導入後の効果などを色々と伺いました。

(有)鍋八農産では、業務の効率化や改善に向けて平成23年にトヨタ自動車と



連携して、米生産作業プロセス

の見直しに着手し、トヨタ自動車「地域社会への貢献」を目的に農業者とも開発してきたIT作業管理ソフト「豊作計画」を利用した業務管理に取り組みました。この「豊作計画」はパソコンとスマートフォンを利用して、管理側と作業員(オペレーター)が作業計画、作業進捗状況等を常に共有することで全体の作業行程を二元的に管理し、作業の効率化を目指すもので、同社では一連の作業時間を大幅に短縮することができ、あわせて作業管理ボードや鍵や工具などの管理ボードも設置したことにより、様々な業務の改善に繋がったとのことでした。

また、同社代表の八木社長は、「豊作計画」を導入したことにより作業効率は大幅に向上したが、一番大きく変わったことは「従業員たちの仕事に対する考え方や取り組み方が変わった」と話されていました。従業員が効率化に向けて自ら考え作業を進めていくようになり、作業記録や作業管理に要する時間も大幅に削減でき、心にゆとりを持って仕事ができる職場環境に変わ



り、会社全体の利益にも繋がって非常に大きな効果を実感しているとのことでした。

この取り組みは、十勝管内のコントラクター組織の運営や作業の効率化にも繋がられるものであると、研修に参加した各組織からの参加者は熱心に聞き入っていました。

このほかには、トヨタ自動車の工場やトヨタ産業技術記念館などを視察しながらトヨタ自動車の経営理念や業務改善に向けた考え方「トヨタカイゼン方式」に基づく取り組みなどについてお話を聞き、今回の視察研修を終了しました。

融雪時期の家畜ふん尿の処理及び管理について

家畜排せつ物法の施行により家畜排せつ物の適正管理が義務化され、組合員の皆様におかれましては日頃より家畜ふん尿について適正管理に努められていることと思います。

春先は雪解け水と一緒に河川や道路側溝などに家畜ふん尿が流出する危険性が高くなります。

家畜ふん尿の処理及び管理について、今一度、管理状況をご確認の上、引き続き適正管理に努めていただきますようお願い申し上げます。

育成牛体測プロジェクト結果から②

榊清流酪農サービス 代表取締役 海田 佳宏

育成牛の育成成績はデータ化することが困難です。そこで平成28年から30年にかけて町内育成牛の体格調査を実施しましたので、その結果に基づいて問題点を探ってみました。

●初乳給与
表は初乳給与量の違いがその後の生産性に及ぼす影響を示しています。多くの研究や農場の経験が示すことは、正しい初乳の給与量が利益に直結するという事です。初乳の給与が不十分な農場も散見します。

用する農場が増えていきます。これは哺乳期の疾病予防、寒冷対策、増体確保が主目的です。

●固形物の摂取
子牛の発育に哺乳量が重要と言っても、離乳後の健康状態と発育を保持するためにはスターターの摂取量を確保する必要があります。初産乳量

に關与しているのは離乳時の固形物摂取量であると示唆されています。

(つづく)

二 子牛の発育

子牛の発育の目標は2ヶ月齢で生時体重の倍です。40kgで生まれた子牛は2ヶ月齢で80kgの体重に到達すべきです。この期間に必要な日増体量は次のとおりです。

40 kg ÷ 60 日 = 0.67 kg/日

町内農場39戸で訪問時に2ヶ月齢前後の子牛の体重を数頭計測し、日増体量を推測しました。実態は図のとおりです。目標に到達している農場は4割程度でした。子牛の増体

●哺乳方式

かつてはミルクの給与量を制限し、固形物摂取量を確保して育成するスタイルが推奨されていましたが、近年は哺乳量を増給する事で十分な栄養供給を目指す飼養体系を採

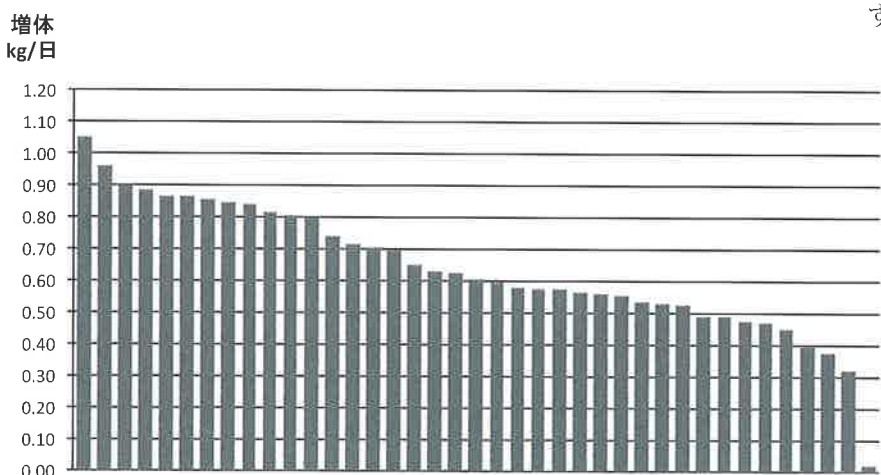


図 子牛の日増体量

表 初乳の給与量とその後の成績

項目	初乳2㍑	初乳4㍑
平均日増体量kg/日	0.8	1.0
授精月齢 ヶ月	14	13.5
2産乳期末までの生存率%	75.3	87.1
2産乳期末までの乳生産kg	16,010	17,036

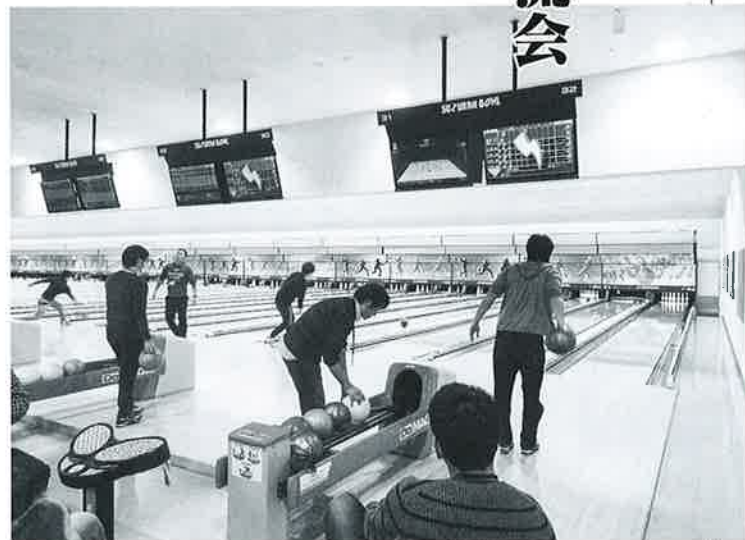
(2004 Faber)

* ブラウンスイスの研究

* 初乳の給与量が違うだけ

JA青年部 スポーツ交流会

1月11日、平成30年度広尾線地区JA青年部スポーツ交流会が、広尾線7JA青年部総勢47名の部員が参加し帯広のスズランボウルで開かれました。開会にあたり当番JAの帯広大正青年部長 梶 真広氏より挨拶があり、始球式のあとボーリング大会が開催されました。単組混合でチームが



組まれ交流しながら楽しく競技が行われましたが、順位については単組の平均スコアということもあり、皆それぞれがハイスコア目指して真剣な表情で取り組んでいました。結果は、当番JAの帯広大正が優勝し、当JAは見事準優勝を獲りました。その後、くいしん坊フード・スタジアムで懇親会が行われ、参加した部員達是他単組の方々と交流を図り、有意義な時間を過ごしていました。

JAひろお 年金友の会

温泉湯治旅行

2月5日から7日までの3日間、JAひろお年金友の会の温泉湯治旅行が十勝川温泉笹井ホテルで行われました。

今回は、お目当てであった毎年恒例のお芝居が行われていなかったため、初日は温泉で日頃の疲れを癒した後、ホテル自慢のバイキング料理に舌鼓を打ち、普段はなかなか味わうことが出来ないゆつくりとした時間を堪能しました。

二日目の夜は懇親会が行われ、カラオケやビンゴゲームで大いに盛り上がり、会員同士が楽しく交流することが出来ました。年金友の会では今後も各種行事を予定していますので、多数の参加をお待ちしております。



JAひろお 女性部

第66回

通常総会

2月4日、広尾町農村環境改善センターでJAひろお女性部第66回通常総会が行われました。

山川部長の挨拶があり、来賓の萬亀山組合長・村瀬町長・十勝南部地区農業改良普及センター 宮部所長にご臨席頂き祝辞を賜りました。

議長に田辺晃子さんを選出し、議事では平成30年度事業報告並びに収支決算報告、平成31年度事業計画並びに任意加入への変更に伴う規約改正の議案が提出されすべて承認されました。

役員の改選では、新部長に東豊似地区の川崎恵さんが選任され、最後に新旧役員の挨拶があり通常総会は終了しました。



なお、新役員は次の通りです。

部長	東豊似地区	川崎 恵
副部長	東豊似地区	田中 いづみ
副部長	野塚地区	藤井 富美
代表監事	紋別地区	岡田 千春
監事	野塚地区	藤井 睦美

JAひろお 女性部 すみれ会

第38回

定期総会

すみれ会



1月21日、広尾町農村環境改善センターで、すみれ会第38回定期総会が行われました。

山野会長から開会の挨拶があり、JAひろお女性部の佐藤副部長より祝辞をいただいた後、議事に入り、平成30年度の事業報告並びに収支決

算が報告され、平成31年度の事業計画の提案では会員の皆さんの意見を取り入れながら進められ、すべて承認されました。

また、役員改選では、全員が再任されました。総会終了後は新年会が行われ、オードブルを囲みながら歓談やビンゴゲームをして楽しい一日を過ごしました。

なお、役員は次の通りです。

会長	和進	山野香代子
副会長	共栄	齋藤由美子
幹事・連絡員	中紋別	今井 悦子
幹事	茂寄	早坂佐登子
幹事・連絡員	曉	中川 文子
連絡員	広尾	横井マツヨ
連絡員	共栄	松本トシエ

第29回 J A 北海道大会（平成30年11月13日）

～パネルディスカッション～

テーマ「多様化する組合員ニーズに応える
新たな協同組合の価値創造」

J A 北海道大会当日に開催したパネルディスカッションの内容を2回に分けてご紹介いたします。



宮入 隆 氏

北海学園大学 教授

テーマは、議案第2号に係る協同組合の価値づくりです。難しいテーマですが、前回大会と2回の実践フォーラムを通じ、各地で様々な取り組みを開始していると思います。これまでに総括し、新たなステップに繋げるための段階として、J A の持つ多様な役割を再確認する場とさせて頂きたい。

あわせて、今後の実践のヒントをパネリストの皆さんから頂き、持ち帰ってもらえればありがたい。

行友 弥 氏

駒農林中金総合研究所
顧問 特任研究員



元々は新聞社で農林水産業の取材に携わり、今は東日本大震災、特に福島原発事故で被災した地域の取材に行っています。取材を通じ、協同組合の意義について考えさせられる機会も度々あります。



青竹 豊 氏

（社）日本協同組合連携機構
（J C A）常務理事

J C A は4月に立ち上がり、J A、生協、森林組合、漁協など様々な協同組合の連携を広げるために設立。私は4月まで日本生協連にいました。協同組合の連携を、より強めることについて、知っている範囲で事例報告をさせて頂きたい。

小野寺 俊幸 氏

J A 北海道中央会副会長
J A と ころ 会長理事



全道 J A の代表であり、一生産者として、組合員のニーズにどう応えていくか。最も難しい問題も難しい問題について、考えていきたい。パネリストの皆さんの話の中で、一つでもヒントを得たいと思います。

【事例報告】



① 生協における組合員との関係強化
② 持続可能な開発目標（SDGs）と協同組合間連携

宮入教授 まず、『組合員との関係強化』について、報告事例も踏まえて討論します。生協と農協の共通の課題も多くあると思います。多様な組合員ニーズへの対応として、組合員の自主性を保ちながら、新たな参加の形をどうしていくか。組合員の想いをくみ取り、新たな活動

地震で被災した J A の施設に、若い人が結集して、被災したコンテナや馬鈴薯などを、自分たちの力で片づけ、1週間かかる作業が2日間で終わった。

若い人たちが農協に結集すると、すごい力となって働く。若い担い手の力の素晴らしさ。普段は、口にしなくても、何かあれば J A に結集して、仲間や友を助ける自分の J A という想いに感銘を受けた。

宮入教授 組合員との関係強化と言うと、いつもは自然に存在しているが、何かあったときに、J A に入っている良かった、組合員で良かったと感じることも大きいのでは。福島の取材でのお話などあれば。

行友 顧問

住民が長期間避難した地域では農業が空白状態になりましたが、飯館村などでは最初にお年寄りが戻り、最近若者が移住して就農するケースも出てきています。



そういう地域は人の繋がりが濃密で支えあいの土壌があります。社会関係資本（人間関係）が豊かな地域は、災害からの回復力が強いのではないのでしょうか。協同組合は、それを体現する組織であり、大事だと思います。

宮入教授 『組合員との関係強化』について、組合員の自主性をどう協同活動に活かすか。J A でも、組合員の想いを、上手く活かして事業にしていこうことが、ニーズの多様化の中で求められると思う。

生活スタイルも世代も異なる人たちが、J A に参加している。そういう声をどう聞き取るか。具体的な方法として、アンケートもあるが、声をどう聞き取って形にするか。生協の事例について、もう一度、お聞かせいただきたい。

青竹常務 生協の職員にとつては、生活や子育てへの組合員の想いを聞き取る力が大変重要です。

宅配担当職員は、週に1度、組合員と顔を合わせ、いろんな質問や悩みを聞く、生協をやめると言われる場合もありますが、その背景を聞き取ることが大事。また、近畿の生協では、職員研修で、J A にお願いをし、一定の期間、畑や牛舎・鶏舎など、生産現場を体験させてもらっています。

本日の大会議案で、若い J A 職員に組合員の会議への参加を位置づけています。現場・組合員の所に行くことが重要であり、その中で、聞き取る力や相手の想いを受け入れる力が育ちます。このことが、人と人が作る協同組合の大きな特徴だと思います。

宮入教授 聞き取った内容を情報交換する場所はあるのでしょうか。

青竹常務 すぐに対応できるものは対応し、重要な商品クレームなどは、組織対応に引き上げることもあります。クレームやお問い合わせ・要望を登録し、組織全体あるいは役員会・理事会で状況をつかむためのデータベース作りを進めている生協も増えています。

宮入教授 担当者も変わる中、データベースにクレーム等も含めて、声を溜めることが、新たな取り組みに繋がるとい

うお話。なるほどと思います。

多様な組合員ニーズという意味で、北海道の組合員数の80%に及ぶ准組合員との関係づくりをどうするか。准組合員との関係づくりについて教えて頂きたい。



に変え、組合員参加の多様な形を実現させるという示唆に富む報告でした。

行友 顧問 事例報告のキーワードは「元氣」「楽しく」「多様」「地域に」でしょう。生協の活動をそういう方向に高めていくことが大切だと感じました。地域が抱える課題は人口減少・少子高齢化などを背景に複雑化・多様化しています。協同組合も規模が大きくなると、サービスを一方的に供給することになりがちですが、組合員自らの参加で課題を解決する流れを作ることが大事です。J A は農政の実務を担ってきた歴史もあり、組合員が受け身になりやすく、自ら能動的に組合運動に参加する意識が薄れているのかもしれない。生協も同様の問題を苦勞して乗り越えようと思っています。

宮入教授 受動から能動へ切り替える難しさ。想いをくみ取って、参加スタイルを多様にする。生協も実現までにご苦勞があったと思います。

青竹常務 各生協で、参加をどのように広げていくか、大きな悩みを抱えながら、日々格闘している。J A の方が、農業者にとつてなくてはならない存在であり、先輩だと思っています。お互いに交流しながら、時代に合った参加の仕方を磨いていきたいです。

宮入教授 J A も生協も、組合員活動をどう支援するかが基本。組合員の多様化の中で、今までと違い、世代間のギャップなどが課題になれば伺いたい。

小野寺副会長 J A も70年の歴史を経た中、若い人たちに、どうやって J A に結集してもらうか。農協運動の中で組合員が何を求めているか。若い人たちと農協運動者の目線、考えのギャップが大きく出てきており、そこに農協運動の難しさがあります。

小野寺副会長 前回大会で、550万人サポーターづくりを掲げ、准組合員をはじめ、消費者の皆さんと、食と農で繋がることを目指して活動をしています。

農業者もある意味で消費者だと考えますと、多様な消費者があり、生協からも、色々と学んでいかないといけませんし、これからは、生協を含めて色々な方々と手を結び、横の連携を広くして、農業だけの目線で見るのではなく、多様な人たちの意見を農協が取り入れられるかに尽きると思います。

北海道の世帯数の60%以上が、生協に加入しています。生協における組合活動の素晴らしさを、我々も認識し、組合員との関係強化に向けて、目線を移していかないといけないと考えています。

宮入教授 准組合員調査を通じて、准組合員は J A 事業利用に対して正組合員に近い考え方を持っていると感じています。自ら准組合員になっている方々の声を、聞き取っていくことも大事だと思います。

行友 顧問 J A 横浜では、准組合員向けの農業体験講座が発展して正組合員の農業を手伝う援農ボランティアの取り組みとなり、正組合員と准組合員の関係を作る契機にもなっています。

北海道は、准組合員の割合が高く、農協がないと地域が持たない部分もあると聞きます。地域の様々な課題に対応するうえでも、正と准の垣根を低くして、協力し合う関係作りが必要だと思います。

宮入教授 J A 事業でライフラン・インフラを維持している地域が数多く存在するのも事実で、あつてはならないが、准組合員の利用が規制されると、J A 事業も影響を受けます。正と准の支え合いを、目に見える形で作っていく必要があると思います。

家畜の伝染病を
防ぎましょう。

家畜伝染病は、家畜伝染病予防法によって定められ伝染病です。

その多くは、重篤な症状を示し、一度発生を許すと大きな被害をもたらします。そのため次の事項を遵守して大切な家畜を伝染病から守りましょう。

1. 畜舎立ち入り毎の長靴消毒
 - ・農場内に入り込んだ病原菌を広げるのは作業する人です。長靴は洗浄・殺菌して牛舎等に入りましょう。
 - ・畜舎前には消毒槽とは別に長靴洗浄用に水槽を用意しましょう。
 - ・畜舎に入る時には、専用のブラシを使い、長靴に付着した土や糞を落として下さい。
 - ・長靴の側面だけでなく、靴底の溝、かかとに詰まった糞をしっかりと取り除いて下さい。



写真1. 畜舎専用の水槽

施設毎に専用の長靴を用意するのも有効な病原体拡散防止方法のひとつです。



写真2. 飼槽専用の長靴

2. 飼槽通路の衛生確保
 - ・給餌の作業動線が汚いと、作業機のタイヤから飼槽に泥が落ち、病原菌が牛の口に入る恐れがあります。
 - ・作業機のタイヤは、牛舎に入る前には、必ず泥などの汚れをしっかりと落としましょう。
 - ・作業機のタイヤで飼料を踏まないように注意しましょう。



写真3. 作業機のタイヤの泥が飼槽に落ちている

- ・飼槽通路は、餌の残渣を取り除き、飼槽を清潔に保ちましょう。
- ・飼槽の掃除をする場合は、専用のホウキやスコップ等を使用しましょう。
- ・飼槽レジコンの破損等があった場合には、そこから病原体が侵入する場合がありますので、必ず飼槽の補修をしましょう。



写真4. 飼槽通路に点々と汚れがある

・飼槽レジコンの上は、牛舎内で使用した長靴で歩かないようにしましょう。

1. 家畜防疫に関する最新情報の把握を！
2. 畜舎立ち入り毎の長靴消毒をしましょう！
3. 衛生管理区域の衛生状態の確保！
4. 野生動物からの病原体の侵入対策をしましょう！

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWE Bサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

JAグループ北海道は、児童養護施設からの卒業を控えた高校生を対象とした調理実習体験「おとなの食育」を札幌市内で開催しました。

この取り組みは、自立支援活動として、JAグループ北海道と興正こども家庭支援センターが共催しており、今回で6回目の開催となります。

高校卒業後、一人暮らしを始める生徒が多く、施設から巣立った後も栄養バランスを考えた食生活を送ってもらい、健康に過ごしてほしいという趣旨で実施しています。高校生10名が参加し、身体に必要な栄養素や食材の消費・賞味期限など食の知識について学んだ後は、調理実習に挑戦。グループに分かれて役割分担をし、協力して楽しく料理する姿が見られました。



JA北海道信連

JAバンク北海道は、地域貢献活動の一環として、野球観戦を通じて子供達に夢や希望を持ってもらうことを目的に、「ファイターズ・ドリムシート」に協賛し、今シーズンは福祉団体を通じて1,200名余りの子供達を招待しました。

「初めて野球の試合を見て楽しかったです。」「声がかれるほど応援しました。」等の感想をいただき、多くの子供達に楽しんでいただきました。



ホクレン

JAとホクレンは労働力確保が深刻になりつつある生産現場と、障がい者の社会参加を希求する福祉側とのマッチングを目指す農福連携研修会を昨年12月、札幌市内のホクレンビルで開きました。大学研究者や実際に障がい者を雇用している生産者・JAの他、北海道庁職員ら70人余りが参加。グループディスカッションでは農福連携の実現に向けた課題と、今後の可能性などについて積極的な意見交換が行われました。



JA共済連北海道

JA共済では、『こども共済』資料請求キャンペーンを実施しております。Webで「こども共済」の資料をご請求いただいた方に、『JA共済オリジナル アンパンマンお食事エプロン』をプレゼントしております。キャンペーンは平成31年3月20日(木)まで、先着60,000名様となっております。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非一読ください。



広尾警察署からのお知らせ

北海道警察官募集中！～夢、今叶えるとき～

○3月1日（金曜日）から北海道警察官の募集が始まります。

北海道警察の仕事は多種多様で、どんな仕事にもやりがいがあります。「北海道のために働きたい！」「困っている人を助けたい！」そう思っているあなた！是非受験してみませんか？

○2019年度第1回北海道警察官採用試験実施日程など

- ・採用予定人員 200名程度
男性A区分115名程度、女性A区分40名程度 男性B区分30名程度、女性B区分15名程度
- ・受付期間 3月1日（金）から4月12日（金）
- ・第1次試験日 5月18日（土） ・第2次試験日 6月上旬から7月上旬

○詳しくは、北海道警察ホームページ、またご質問等は、広尾警察署（2-0110）までご連絡ください。

東日本大震災から8年が経過

平成31年3月11日で、東日本大震災の発生から8年が経過します。昨年9月には北海道でも胆振東部地震が発生し、大きな被害を受けました。

今一度、①水や食料等の備蓄、②避難場所や避難経路の確認、③非常時の連絡先の確認など、災害への備えを!!

地下鉄サリン事件から24年が経過

平成7年3月に発生したオウム真理教による地下鉄サリン事件から24年が経過します。教団に対する関心が薄れ、一連の凶悪事件の記憶が風化しないように、警察ではあらゆる機会を通じて情報発信を行っています。

オウム真理教による主な事件

- 弁護士一家殺人事件（H元年11月4日） 死者3人
- 松本サリン事件（H6年6月27日） 死者8人、負傷者約140人
- 公証人役場逮捕監禁致死事件（H7年2月28日） 死者1人
- 地下鉄サリン事件（H7年3月20日） 死者13人、負傷者5,800人以上

フィルタリングで少年非行・犯罪被害防止

SNSなどのコミュニティサイトが普及する中で、インターネット上の誹謗中傷やいじめ、知り合った相手にだまされるなどして自分の裸を送る「自撮り画像被害」などの性的犯罪被害が深刻化しています。

子供が携帯電話・スマートフォンを持っている、春休み中の新規購入を考えているご家庭は、SNSや有害サイトなどへのアクセスを制限できるフィルタリングを設定し、少年の非行及び犯罪被害を防止しましょう。

雪解けに伴い実勢速度が上がるので、速度の制御を ストップ・ザ・交通事故 ～めざせ 安全で安心な北海道～

- 1 時間に余裕を持って運転
- 2 スピードダウンと慎重な運転
- 3 交差点で歩行者などに注意
- 4 急な悪天候に注意

【広尾警察署 2-0110】

建築物等を建設する場合について（農地転用等）

農地及び施設地等に建築物等を建てる場合は行政機関への届出が必要です。

建築物等の建設を予定されている方は農協や役場にお早めにご相談下さい。

農地転用等の規制が厳格化されており、違反には罰則も適用されますので違反転用と
ならないよう、くれぐれもご注意ください。

○届出が必要な主なケース

- ・施設（住宅含む）を建設する場合
- ・砂利等を敷く場合
- ・砂利等を採取する場合
※ 自らの所有地であっても砂利を採取する場合は専門業者に委託が必要です
- ・その他土地の形質を変更する場合

○主な届出

・開発許可

施設用地に建築物等を建設もしくは土地の形質を変更する場合

申請から概ね1か月程度で許可

・農地転用

農地に建築物等の建設もしくは土地の形質を変更する場合

申請から概ね3か月程度（30a未満は2か月程度）で許可

建て位置及び転用範囲に境界杭を打つ必要があります

農業委員会による現地確認が必要なことから、申請時期は春～秋までの受付となります

・農業振興地域除外申請

農用地及び施設用地に住宅等を建築する場合等

（登記地目が宅地であっても現況が畑の場合も含む）

申請から3～4か月程度で許可

申請から許可まで非常に時間がかかるため、まとめて冬期間に申請

○申請書の作成に当たって、見積り・図面（平面・立面）、土地の謄本等をご用意いただきますので、まずはご相談下さい。

また、書類の提出は申請者本人が行うこととなっておりますので、ご理解のほどお願い申し上げます。

管理部 信用管理課

牡羊座 3/21～4/19 ♈ 全体運 公私共に活躍の場が広がりそう。やりたいことがあれば、積極的に自己アピールを。にぎやかな場所につきあり 健康運 軽く体を動かすことで、より健康体に 幸運の食べ物 モズク	牡牛座 4/20～5/20 ♉ 全体運 あれこれ考え過ぎてしまう時期です。開き直りの気持ちで大切に。丁寧に水回りを掃除すると、開運します 健康運 喉のケアをきちんと行くと、好影響大 幸運の食べ物 コゴミ	双子座 5/21～6/21 ♊ 全体運 交友関係が活発化する予感。飲み会の席や旅先で良い出会いに恵まれそう。趣味や習い事に力を注ぐのも正解 健康運 無理は禁物です。適度な休息を心掛けて 幸運の食べ物 蜂蜜	蟹座 6/22～7/22 ♋ 全体運 環境などの変化がもたでプレッシャーを感じがち。緊張らず、気楽に構えましょう。絵本を読むとリラックス可能 健康運 生活リズムが乱れやすい。夜更かし厳禁 幸運の食べ物 アシタバ
獅子座 7/23～8/22 ♌ 全体運 持ち前の行動力を発揮できる月。興味を引かれるジャンルがあれば、ぜひ挑戦してみてください。サポート運も強力です 健康運 ストレッチなどで体を伸ばすとグッド 幸運の食べ物 トリガイ	乙女座 8/23～9/22 ♍ 全体運 感傷的になりやすい期間。落ち込みを感じたら、親しい人に話を聞いてもらうなどして、気晴らしを。お香も吉 健康運 うっかり小さなけがをしがち。注意して 幸運の食べ物 ウド	天秤座 9/23～10/23 ♎ 全体運 まずまずの運気。ただ、決断力が乏しくなるため、1人で考え込むより、周囲に相談を。音楽鑑賞もラッキー 健康運 スポーツの腕が上達しそう。楽しむと◎ 幸運の食べ物 オレンジ	蠍座 10/24～11/22 ♏ 全体運 物事を深刻に受け止めやすい傾向が。意識して良い面を探しましょう。部屋の整理整頓をすると心も穏やかに 健康運 運動不足になりやすいので、小まめに動いて 幸運の食べ物 ニラ
射手座 11/23～12/21 ♐ 全体運 努力が認められるなど、うれしい出来事が期待できます。リーダー役に抜てきされやすいので意欲的に引き受けて 健康運 体力過信気味。疲労解消を怠らないこと 幸運の食べ物 サヨリ	山羊座 12/22～1/19 ♑ 全体運 思うようにならないことが多くなる気配。特に家族など、身近な人々から干渉されがち。感情的にならないで 健康運 健康食品に凝り過ぎ。ほどほどがベスト 幸運の食べ物 ヒジキ	水瓶座 1/20～2/18 ♒ 全体運 コミュニケーション運が上々。初対面の相手ともフランクに話すことで、耳寄りな情報が。ネット検索にもつき 健康運 体を動かせば、より快調に過ごせます 幸運の食べ物 ゼンマイ	魚座 2/19～3/20 ♓ 全体運 周りへの気配りを発揮することで、運が上向く兆し。余暇はオペラやミュージカルを見に行くと、良い刺激に 健康運 消化の良い食材が体調を上向かせる鍵に 幸運の食べ物 ミツバ

第12回 理事会

開催日時 平成30年12月14日（金） 午後1時00分
開催場所 広尾町農村環境改善センター 視聴覚室

● 議案

- 議案第1号 共済規程の一部変更について
議案第2号 国民年金基金の事務委託に関する覚書の一部変更について
議案第3号 理事者への利益相反取引契約及び資金の貸付について
議案第4号 各種資金の貸付について
議案第5号 信用供与等の特認区分及び特認額の変更について
議案第6号 平成31年度営農年度組特組合員の営農計画について
議案第7号 北海道胆振東部地震災害に対する支援要領（案）について
議案第8号 平成30年度経営所得安定対策に係る数量払いの仮渡しについて

● 協議事項

1. 公共牧場の現状と今後の対応（案）について
- ### ● 報告事項
1. 11月末経営定期点検の結果について
2. 内部審査の結果について
3. 理事に対する資金の貸付について
4. 平成30年度第3四半期余裕金運用状況について
5. 北海道胆振東部地震及び台風21号支援事業の申込状況について
6. 資金貸付の取り下げについて
7. 各種資金の貸付状況について
8. 平成30年度ホクレン生乳災害見舞金について
9. 生乳生産動向について
10. 法定伝染病発生に伴う対応の進捗状況等について
11. 石油類価格の改定について

開催日時 平成31年1月25日（金） 午後1時00分
開催場所 広尾町農村環境改善センター 視聴覚室

第13回 理事会

● 議案

- 議案第1号 規程類の改正について
議案第2号 マネー・ローダリング等への対応に関する規程の制定について
議案第3号 第71回通常総会の開催日程について
議案第4号 出資金の払い戻しについて
議案第5号 理事者との利益相反取引契約について
議案第6号 理事者との組合員勘定取引について
議案第7号 ㈱ピラオロH31年度営農計画について

● 協議事項

1. 役員報酬等審議委員会への諮問について
2. 平成31年度組合員の階層区分の設定について
3. 平成31年度信用供与等の額の設定について
4. 平成31年度信用供与等の特認額の設定について
5. 賦課基準の見直しについて
6. JAバンク基本方針に基づく体制整備及び機構改革について

● 報告事項

1. 12月末経営定期点検の結果について
2. 組合員の脱退・資格喪失について
3. 理事に対する資金の貸付について
4. 平成30年度決算予測について
5. 平成30年度営農年度組特組合員の組合員勘定取引実績について
6. 平成30年末組勘整理資金貸付状況について
7. 生乳生産動向について
8. 法定伝染病発生に伴う対応の進捗状況について
9. 平成31年1月～3月期配合飼料（系統）の価格改定について
10. 石油類価格の改定について
11. 職員の採用について

パズル? 頭の体操

出題●ニコリ

□ 二重マスの文字をA～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか? 出題●ニコリ



解答 A B C D
モクレン

→ ヨコのカギ

- 春の山菜の一つ。スギナの胞子茎です
- 和・——・中の料理が味わえるレストラン
- 絵の具を混ぜ合わせるときに使う板
- 開店祝いに胡蝶（こちょう）——を贈った
- 水が湧き出てくる所
- 奈良県の桜の名所
- あまり飾り気はありません
- 北海道で生まれた馬や人をこう呼びます
- 火のない所に——は立たぬ
- 米寿は数え年88歳の祝い、——は77歳の祝い
- 「!」は感嘆符、「?」は——符
- はさみを振りつつ横歩き
- 一、十、百、千、——

↓ タテのカギ

- お酒にのまれている人
- 先祖の冥福を祈り、追善——を行った
- 眼鏡のフレームにはめます
- 両手と両足のこと
- 彼は質問に——なく答えた
- 首の前部にある出っ張り
- 牧場の周りによく立てられています
- 踏むことでよく育つ穀物
- 楽しいとすぐに過ぎてしまいます
- 阿寒湖の物は特別天然記念物
- 一角獣とも呼ばれる想像上の生き物

投稿写真紹介



山本喜久男さん 自宅上空からドローンで撮影

ご協力をお願い

農林年金に住所登録されていない方を探しています！

農林年金では、制度完了に向けた取り組みをすすめています。農林年金に住所登録がされていない方には農林年金からの重要なお知らせなどを届けることができません。このような方は特例年金に代えて支給する特例一時金を受け取れないまま時効となってしまう可能性があります。

次の事例に当てはまる方は、下記連絡窓口までご連絡ください。



- ① 1年以上の農林年金期間があり、平成8年12月以前に農協（JA）などの農林漁業団体※を退職している。
- ② 日本年金機構「ねんきん定期便」の「一般厚生年金期間」に農林年金期間が含まれていない。
- ③ すでに62歳を超えているが、農林年金から何の連絡もない。
- ④ 62歳はまだ先のことだが、①②に当てはまる。

※農林漁業団体とは：農協（JA）のほか漁協（JF）、森林組合、農業共済組合、厚生連病院、土地改良区、農業会議、たばこ耕作組合、漁船保険組合、農事組合法人など

連絡窓口

農林年金 住所登録専用ダイヤル 03-6811-0550
(管理徴収課) 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

農林漁業団体職員共済組合（農林年金） <http://www.norin-nenkin.or.jp/p2018/index.htm>

